

警戒レベルに応じた行動を

5月下旬から、気象庁が発表する情報が新しくなります

大雨などによる災害の危険を予想したとき、下表のように「レベル」と「災害名」のついた情報を発表します。「警戒レベル相当情報」は、あくまで南陽市が避難情報を発令するにあたり参考にするものです。「警戒レベル情報」＝「避難情報」にはならないため、ご注意ください。詳細は気象庁ホームページをご覧ください▶



新しい防災気象情報				災害の危険度に応じて警戒レベルが発令されます	
警戒レベル相当情報	河川氾濫	大雨	土砂災害	避難情報	とるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	避難指示	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	高齢者等避難	避難に時間を要する人は避難
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報		
警戒レベル1	早期注意情報				

警戒レベル4で全員避難

※上記の表は印刷の都合上、本来の色とは異なる標記となっているため、気象庁ホームページをご覧ください。

避難所に避難するときは

自分のものはできるだけ持参しましょう

避難所には避難生活に必要なものをある程度備蓄していますが、全員分を十分準備できるわけではありません。避難する際は、食料・飲料水・その他身の周りで必要なものはできるだけ自分で持っていきましょう。

避難生活に必要なものの一例



※リュックサック等にまとめて、すぐ持ち出せるようにしましょう。
※使用期限切れがないよう、定期的に点検しましょう。

- 救急用品・常備薬
- 体温計
- 消毒液
- 不織布マスク
- 飲料水・食料 (最低でも3日分)
- ウエットティッシュ
- ラップ・ビニール袋
- 毛布・寝袋・衣類
- 予備の電池
- 携帯電話のモバイルバッテリー
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ

避難所状況をアプリ・マップでチェック!

開設された避難所や収容人数などがリアルタイムに更新され、避難できるかどうかをスマホやパソコン等で確認できます。



▲避難所情報 WEBアプリ



▲災害マップ

正しい災害情報を入手しましょう!

避難情報や気象情報は、さまざまな方法で取得することができます。いざというときに備えて、情報の取得方法を確認しておきましょう。

- 市ホームページ
- 防災行政無線
- YouTubeチャンネル「防災なんよう」
- 防災ラジオ

防災行政無線の放送内容を聞くことができます。災害情報テレホンサービス(☎40-3001)

警報や注意報、災害情報などについて、24時間ライブ配信をしています。

災害時発信 SNS

- ▷市公式 facebook 「南陽市役所」
- ▷市公式 X 「南陽市防災情報 (@bousai_nanyo)」
- ▷市公式 LINE 「安全安心なんよう」

- 無料アプリ「ヤフー防災情報」
- 山形県河川国道事務所ホームページ
- 山形県ホームページ(こちら防災やまがた)
- ▷無料アプリ「ヤフー防災情報」(https://emg.yahoo.co.jp/)
- ▷山形河川国道事務所ホームページ(http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/)
- ▷山形県ホームページ(こちら防災やまがた)(https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/)

【防災特集】

防災は一人一人の備えから 出水期を前に命を守る備えを!!

◆総合防災課 (☎40-0264・40-0267)



▲令和8年5月17日に開催された水害対応訓練

令和6年7月に山形県を襲った豪雨では、7市町村に大雨特別警報(浸水害)が発令され、最上川上流では氾濫危険水位を超過しました。今年も間もなく出水期を迎えますが、万が一の災害に備えた日頃からの意識と行動が大切です。「自分の命は自分で守る」を基本として、災害について家族や地域で話し合い、災害に備えましょう。

どこにどう逃げる? ハザードマップで避難のしかたを確認しておきましょう

大雨の時に自分の家は浸水するのかな?

とりあえず避難所に行けばいいんじゃないの?

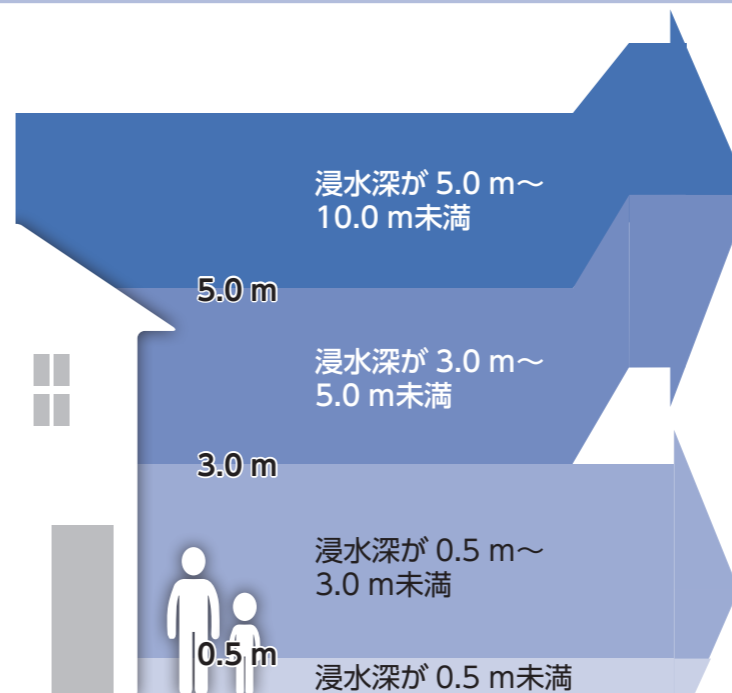


住んでいる場所や生活スタイル、災害の状況によりどう行動すべきかは異なります。様々な場合を想定して、もしもの時にどうするか普段から家族や親戚、地域の人と話し合っておきましょう。

洪水想定浸水区域図を反映したハザードマップと、ため池が決壊した場合の被害範囲を反映したため池ハザードマップと合わせてご確認ください▶



家や職場の想定浸水深を確認しよう!



早期の立退き避難 (その場から移動) が必要

家屋の2階以上が浸水する恐れがあります。市からの避難情報に関わらずその区域から安全な場所(親戚・友人宅、避難所など)に速やかに避難してください。

立退き避難が望ましいが 万一の場合は垂直避難

床上・床下浸水の恐れがあるため、原則は立退き避難です。ただし、万一逃げ遅れたり、外に出るとかえって危険だと感じる場合は自宅や近くの頑丈な建物の2階以上に垂直避難してください。